

故 小林秀央氏を

名誉市民に

問 秘書情報課秘書係 ☎95-9861



故 小林秀央氏
(道場山町／享年79)

略 歴

- 昭和16年(1941) 6月22日に愛知県碧海郡新川町(現碧南市)に生まれる
- 昭和49年(1974) 碧南市議会議員に初当選(8年9か月)
- 昭和62年(1987) 愛知県議会議員に初当選(7期28年)
- 平成13年(2001) 藍綬褒章を受章
- 平成15年(2003) 第83代愛知県議会議長に就任
- 平成28年(2016) 碧南市市政功労者表彰を受彰
- 令和3年(2021) 5月12日に旭日中綬章を受章正五位に叙せられる



△平成15年
愛知県議会議
定例会



△平成15年
愛・地球博日本館起工式／愛知県提供

7月29日開催の市議会臨時会で同意を得たため、故小林秀央氏(5月12日逝去)に名誉市民の称号を贈呈します。
名誉市民の称号は、市民又は市に縁故の深い人で公共の福祉の増進又は産業文化の進展に寄与し、広く市の発展に貢献し、その実績が卓絶顕著で市民の尊敬を受ける人に贈呈しています。

小林秀央氏の功績

小林氏は、昭和49年5月に市議会議員に就任され、約8年9か月に渡り卓越した識見をもって市政の枢機に参画し、市政の進展にまい進されました。昭和62年4月からは県議会議員として、7期28年の長きにわたり県政の発展に大きく貢献され、特に、県議会議長時代には、中部国際空港の開港、愛知万博の成功に尽力するなど、将来を見据えたまちづくりの力を注がれました。

小林秀央先生を碧南市の誇りに

碧南市長 榎垣田 政信

小林先生は、時代を超越した先見性とあふれんばかりの情熱を注がれ、地域社会の発展と住民福祉の向上に一生をささげてこられました。その足跡は本市の歴史として多くの市民に語り継がれ、郷土の誇りとして深く尊敬され、また感謝されております。ここに、郷土の先駆者、市民の誇りとして心からの敬意と謝意を表し、名誉市民の称号をお贈りいたします。

小林先生、郷土のため粉骨砕身ご尽力されたお姿は今でも鮮明に思い出されます。私たちは、あなた様の郷土愛と正義感を受け継ぎ、碧南市の発展と市民福祉の向上のためにこん身の努力を尽くしてまいります。どうか、郷土碧南の更なる発展を、いつまでもお見守りください。

名誉市民の受章を祝して

碧南市議会議長 林田 要

小林先生は、郷土碧南の先達者として、生涯を通じて公正無私な人柄であられ、常に市民の要求に応える新しい政策を模索し、地方自治の発展のため、心魂をささげられました。

先生の市議会議員、県議会議員としてのご活躍は、広く市民の信望と敬愛を受けるところであり、この度、名誉市民受章の栄に浴され、その輝かしいご功績を広く顕彰し、心から敬意と感謝を申し上げる機会を得ましたことは、誠に喜ばしく慶賀に堪えませぬ。

市議会は、先生の地域発展に対する熱い情熱を継承し、住民一人ひとりの笑顔があふれる碧南市を発展、飛躍させていくことをお約束します。